

山本敬介 議員

1 村政執行方針質疑

問 まず自治基本条例（仮称「村びと条例」）について伺います。この条例は、全国的にも多く制定されていますが、問題点が指摘されている例もあります。どのような村を目指すのかを明らかにした上で、慎重に住民の意見を反映させていくべきと思います。この条例について具体的に伺います。

中村村長 想定しているのは総合型の条例です。住民の意見を十分に聞きながら進めるため、条例の検討委員会を作って住民のいろいろな意見をいただきます。また、策定状況は様々な機会、方法で情報を村民のみなさんに提供していきます。また、できれば、村民憲章のように中学生が理解できるような表現、条文にならないか検討していきたいと思っています。

問 次に集落対策です。地方創生も絡んで、より具体的な対策が急務です。特にトمام地区はこれまでの対策が遅れて、緊急

事態と思います。今回の執行方針には記述がありませんでしたので伺います。

中村村長 トمام地区の集落対策ですが、今回当初予算で地域おこし協力隊3名分の費用を見えています。トمام地区にも1名、優秀な人材を獲得して集落活性化の中心になるよう進めます。

問 次に移住・定住政策です。現在は行政職員のみで進められていると感じます。もっと実際に移住してきた方の声を反映させ、例えば都市部でのPRの機会に移住してきた方も同行するなど、移住・定住対策の進め方について伺います。

中村村長 現在行政が主体となつて移住定住対策を進めています。が、移住された方々のご意見等伺いながら、協力も得ていききたいと思っています。

問 次に、新エネルギーの推進です。先日の大雪でも湯の沢温泉の電の復帰がもっとも遅かつたと聞いています。湯の沢温泉は近くの沢で小水力発電の可能性が大きいと専門家から聞いて

います。新エネルギー検討委員会では木質バイオマスと合わせて小水力や太陽光など、さまざまな検討が行われるべきだと思いますが、伺います。

問 次に商工・観光のトマムリゾートについてです。現在、雲海テラスの人氣で非常に好調なリゾートと農業・林業との連携について伺います。

中村村長 新エネルギーは木質が大きな柱になっていくことは間違いないですが、専門家から湯の沢温泉に小水力発電という提案もいただいていますので、考えていきます。

中村村長 現在、トマムリゾートと村がどんな連携ができるか定期協議を持っており、村からいろいろなことで提案していきたいと考えています。一次産業との連携は、いろいろな体験を通しての連携は可能だと考えております。

問 次に畑作振興について伺います。占冠村の畑作は非常に質が高く、環境保全型の農業で、これは村の未来の農業を見据えた時に非常に重要だと思えます。例えばレストランでの野菜使用に対する補助制度や、共同購入、CSA（コミュニティサポート）、アグリカルチャー、道の駅の販売活性化策など畑作振興について伺います。

問 次に児童福祉です。平成20年度は小規模多機能型施設の運用開始もあり保健福祉課が非常に忙しくなるのは明らかです。昨年、保育所から3歳児が外に出してしまう事件があり、幸いなきを得ましたが、これは構造的な問題だと思えます。対策について伺います。

中村村長 担い手が増えればいろいろな施策も行えるという状況とっています。今後も、農業振興事業補助の中で検討していきたいと思っております。

中村村長 昨年の4月、園児が外へ出たことが実際ありました。その後保育士と課長で検証して、危機管理マニュアルを作った、それに沿って保育を行っていきます。安心していただけるような保育所を目指していきます。

問 最後に防災対策です。東日本大震災から4年がたちましたが、村が要望に応じて放射能測定を月1回に戻したというのは非常に評価できると思っています。平成〇〇年度も引き続き震災で被害にあった地域、方々に対し支援を続けていくというべきだと思いますが、村長の考えを伺います。

中村村長

平成〇〇年度も引き続き避難者、被災者に対して支援していく方向で考えています。